令和５年度第１回千葉市生涯学習審議会議事録

１　日時　令和５年８月１５日（火）
　　午後１時３０分から午後３時３０分まで

２　場所　千葉市役所高層棟２階　２０１会議室

３　出席者
（１）委員
　岩切　裕会長、菊池　まり副会長、伊藤　節治委員、今関　光浩委員、岩崎　久美子委員、小早川　実穂委員、萩原　博委員、廣﨑　典子委員、細川　芽委員、矢澤　正隆委員

（２）事務局
　齋木　久美子生涯学習部長、佐久間　仁央中央図書館長、内海　豊生涯学習振興課長、君塚　常行文化財課長、上田　昌弘生涯学習振興課放課後子ども対策担当課長、小池　正彰生涯学習振興課課長補佐、岩井　智朗管理班主査、積田　浩二生涯学習科学教育班主査、宗像　秀典管理班主任主事

４　議題
（１）第５次千葉市生涯学習推進計画の達成状況について
（２）第６次千葉市生涯学習推進計画の策定について

５　議事概要
（１）　第５次千葉市生涯学習推進計画の達成状況について
　　事務局が説明し、各委員から意見を聴いた。
（２）　第６次千葉市生涯学習推進計画の策定について
　　事務局が説明し、各委員から意見を聴いた。

６　会議経過
　議事に先立ち、事務局から資料の確認、会議の公開及び議事録の承認方法、会議の成立の報告及び委員紹介、職員紹介を行った。

（１）第５次千葉市生涯学習推進計画の達成状況について

○（岩切会長）
　それでは、これより議事を始めさせていただきます。
最初の議題は、「第５次千葉市生涯学習推進計画」の達成状況でございます。
この議題については、分量が多いため、大項目ごとに説明をしていただき、各委員のご意見等を伺いたいと思います。
事務局より説明をお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）
生涯学習振興課の内海でございます。

議題１「第５次千葉市生涯学習推進計画」の進捗状況について、ご説明させていただきます。

「第５次千葉市生涯学習推進計画」は、平成２８年度から令和３年度までの６年間を計画期間として、市民の生涯学習を推進するため策定された計画でございます。なお、本市の「基本計画」や、国の「教育振興基本計画」の次期計画が令和５年度から開始されることを踏まえ、第６次生涯学習推進計画についても、その計画期間を令和５年度から開始することとしましたので、計画期間を１年延長し、令和４年度までといたしました。
それでは、資料１「第５次千葉市生涯学習推進計画の達成状況」に沿って説明させていただきます。

１ページをお願いいたします。

はじめに、評価の基準を説明させていただきます。
中ほどの表に記載のとおり、「成果指標」における「達成状況」の記載については、各指標について、令和４年度末実績値の状況を、度合に応じて、「◎・○・×」の３つの区分で示しています。
また、１ページ下の表に記載のとおり、「アクションプラン」における「進捗状況」の記載については、各事業について令和４年度末の最終目標値の達成状況を、「達成・概ね達成・未達成・休止・中止」の５つの区分で示しています。

補足でございますが、こちらの進捗状況につきましては、「千葉市教育委員会事務点検・評価」の一部として掲載される予定となっております。

なお、分量が多いため、説明は大項目毎でさせていただき、ご意見を伺いたいと思います。

まず、大項目「１　学習活動のきっかけの提供」です。
２ページをお願いいたします。

「１－１　生涯学習の普及啓発」でございます。

「成果指標１　生涯学習に関心のある市民の割合」につきましては、令和４年度の実績は、７９．２％で、令和４年度末の最終目標値を下回っているため、達成状況は「×」となっております。
「今後の取組等」としましては、市民ニーズに応えた各種事業を実施するとともに、SNS を活用した情報の発信や、情報誌やチラシなどの発行回数を増加することで、学習のきっかけづくりにつなげ、生涯学習に関心のある市民の割合が増えるよう努めてまいります。

「成果指標２　生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合」につきましては、令和４年度の実績は５２．８％で、達成状況は「◎」となっております。
今後は、SNS を活用した情報発信の拡充、情報誌やチラシなどの発行回数の増加、公民館の掲示板の活用など、各年齢層の利用者に届くよう、様々な手法を活用した情報発信を充実いたします。

アクションプランの進捗状況については、４ページ、５ページに記載のとおりです。
１から３のいずれの事業も、進捗状況は「達成」となっており、今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。

６ページをお願いいたします。

「１－２　学習環境の整備」でございます。

「成果指標３　市の生涯学習施設が５年前よりも利用しやすくなったと考える市民の　割合」につきましては、令和４年度はアンケート未実績により数値化できておりませんが、令和３年度は４２．５％となっており、令和４年度末の最終目標値を下回っておりますので、今後も引き続き、各施設の修繕や備品の交換を計画的に実施し、利用しやすい施設となるよう環境づくりを進めてまいります。

「成果指標４　生涯学習施設を年１回以上利用したことのある市民の割合」につきましては、令和４年度の実績は５６．９％で、達成状況は「×」となっております。
今後は、学習環境の整備を進め、市民ニーズに応じた各種事業を実施し、学習のきっかけづくりに努めつつ、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて生涯学習施設を運営してまいります。

アクションプランの進捗状況については、８ページから１１ページに記載のとおりです。
１から９の事業の進捗状況は、未達成や休止がありますが、概ね「達成」となっており、今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。

以上が、大項目「１　学習活動のきっかけの提供」の説明となります。
委員の皆様から、ご意見をいただき、今後の事業推進等に反映したいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○（岩切会長）
只今の説明について、ご意見等がございましたらお願いします。

○（萩原博委員）
生涯学習センターにある地下ホールで団体活動をしているが、その活動内容やお知らせをインターネットでウェブ情報を流したいが、同センターのサーバー容

量が足りないため、不可能となっています。改善をしてもらえませんか。
　生涯学習センターのコーヒーショップの建物にある休憩スペースがいつも満席であり、中央図書館は読書スペースになっています。団体活動している仲間と一緒に活動できるオープンスペースがあるとよいと思います。また、図書館には資料の持ち込みが禁止されていますが、持ち込みができるように検討していただけませんか。

○（内海生涯学習振興課長）
　情報発信について出来る限りの対応をしてまいります。

○（佐久間中央図書館長）
　千葉市図書館では、資料の持ち込みはできるようになっております。

○（矢野委員）
　新しくなったこてはし台公民館・花見川図書館を施設見学しました。施設のハード面は、良くなっていますが、公民館と図書館の連携はどうなっていますか。例えば、図書館の特集コーナーで図書が展示された場合、公民館では、図書の特集展示の内容に関連した講座を開催できないでしょうか。
　また、生涯学習センターでは市民と連携する講座をできるように、公民館でもそのような講座をできないでしょうか。

○（伊藤委員）
　なぜ公民館では連携する講座ができないのでしょうか。ある公民館では講座を企画しても、年間で講座が埋まっているからとの理由で断られましたが、あすみが丘プラザでは、講座の開催を受け入れてくれました。社会教育施設機能の向上を図るうえでも、公民館の役割拡大をより促進してください。

○（内海生涯学習振興課長）
　公民館で実施する講座の多くは、千葉市関係各課等の行政機関、近隣学校、社会教育関係団体、ＮＰＯ、公民館利用団体、その他の民間団体との連携により実施しております。
　公民館は講座を開催するだけでなく、公民館利用団体の学び続ける場としても活用されています。講座と利用団体の活動を調整し、1年を通して計画的に公民館を運営するに当たっては、開催講座につきましては、前年度に事業計画を作成する必要があるため、年間で講座が埋まってしまうこともあり、その場合は翌年度事業の開催講座として検討させていただいております。
　こてはし台公民館・花見川図書館図書では、館主催のおはなし会を定期的に公民館で開催しており、今後は、公民館主催講座の開催の際、関連する図書の企画展示を実施するなど、更に連携を進めて参ります。

○（佐久間中央図書館長）
　今後、図書展示と講座開催がセットで企画できるように図書館と公民館で連携してまいります。

○（岩崎委員）
　生涯学習の普及啓発において、「生涯学習に関心のある市民の割合」が成果指標の目標を９０％にしていますが、全市民を対象としているため、相当高い目標であると思います。
　千葉市には、生涯学習関係のいろいろな施設がありますが、施設管理者が利用者の目的等を把握しどういう人がどういう施設に関心があるのか認識ができてないように感じますので、公民館を委託する際には指定管理団体へ具体的な事象も含めて仕様書として示す必要があると思います。

○（細川委員）
　図書館サービスの向上において、図書館分館における休日開館の実施が未達成となっています。開館日を増やすと人件費や光熱費等の施設管理費用が負担となり、簡単には実施が難しいかもしれませんが、いかがでしょうか。図書館の電子書籍化で対応することも必要と思います。

○（佐久間中央図書館長）
　限られた予算の中で、分館における休日開館の実施などは、残念ながら達成することはできませんでした。今後は、委員のおっしゃるとおり、電子書籍サービスをさらに進めるなどＩＣＴを活用した図書館サービスの向上に積極的に取り組んでまいります。

○（岩切会長）
　　他にご意見等はございますか。
　無ければ、続いて、次の大項目の説明を事務局よりお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）
　　つづきまして、大項目「２　多様な学習機会の確保」です。
　１２ページをお願いします。

「２－１　郷土への愛着を深める学習機会の提供」でございます。

「成果指標５　郷土の歴史や文化財に愛着を感じる市民の割合」につきましては、令和４年度の実績は６３．８％で、達成状況は「◎」となっております。
今後は、より多くの方に満足いただける学習機会を提供できるよう、引き続き、郷土への理解を深める講座・事業の充実など関連するアクションプランの充実を図ってまいります。

アクションプランの進捗状況については、１３ページから１５ページに記載のとおりです。
１から５の事業の進捗状況は、一部未達成や休止がありますが、概ね「達成」となっており、今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。

１６ページをお願いいたします。

「２－２　市民ニーズに対応した学習機会の提供」でございます。

「成果指標６　公民館の講座の参加者の満足度」につきましては、令和４年度の実績は９８．５％で、達成状況は「×」となっております。
今後は、地域課題、利用者のニーズ、不満だった理由を的確に把握したうえで、企画内容、講座の運営方法の改善に努めるとともに、講座内容や実施回数を充実し、満足度の向上を図ってまいります。

「成果指標７　『科学都市ちば』の認知度」につきましては、令和４年度の実績は３４．７％で、達成状況は「×」となっております。
今後は、千葉市科学フェスタメインイベントや科学館事業の充実はもちろんのこと、展示物リニューアルの周知や、未来の科学者育成プログラム等、児童生徒向けの事業の充実を図り、「科学都市ちば」の認知度の向上に努めてまいります。

アクションプランの進捗状況については、１８ページから２２ページに記載のとおりです。
　１から１３の事業の進捗状況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部「未達成」がありますが、概ね「達成」となっており、今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。

以上が、大項目「２　多様な学習機会の確保」の説明となります。
よろしくお願いいたします。

○（岩切会長）
　只今の説明について、ご意見等がございましたらお願いします。

○（矢澤委員）
　公民館で開催する講座が継続して受講できるようにはなっていないようです。例えば、昨年度は、テレビドラマの影響で千葉氏を題材として講座を開催していましたが、今年度は開催していません。市民の声を講座開催に反映させてほしいと思います。

○（萩原委員）
　成果指標に科学都市ちばの認知度とあるが、千葉市に科学都市のイメージがありません。認知度の向上をどのようにお考えでしょうか。

○（内海生涯学習振興課長）
　特定の方ではなく、多くの方に参加していただくために、連続した講座の開催は少ないですが、公民館で講座を受講し、さらに学び続けたいという方達がサークル化できるよう、社会教育主事有資格者などの公民館スタッフがサポートしております。
○（齋木生涯学習部長）
　公民館の設置及び運営に関する方向性を見直し、ソフト面の弾力化や施設の強

力化を図り、公民館活動の振興と充実を図るため、公民館の機能を強化し、地域拠点の役割を担えるよう進めて参ります。

○（内海生涯学習振興課長）
　科学館での体験型事業を拡充するとともに、大学等研究機関や企業などが有する科学技術の体験と課題研究を行う未来の科学者育成プログラムの充実、市民の方が日常生活の中で、科学・技術を身近に感じることができる科学の祭典、科学フェスタ、科学・技術への興味・関心を高め、科学に親しめる環境づくりを推進するため、関係団体や地域の有志等と連携し、地域に向けた科学体験の学習機会の提供、中学校の科学部を対象としたサイエンスクラブアセンブリーなどの実施により、引き続き認知度の向上を図って参ります。

○（伊藤委員）
　放課後子ども教室では、児童の過密状態の教室もあれば、のんびりと余裕のある教室があります。教室に児童一人何㎡でしょうか。

○（上田担当課長）
　アフタースクールについては、放課後児童クラブの基準に即して、児童１人当たり 1.65 ㎡の面積を確保しているところですが、現地を確認したいと思いますので、差支えなければ、後ほど、どのアフタースクールが過密状態であったかを教えていただきたいと存じます。

○（岩切会長）
他にご意見等はございますか。
無ければ、続いて、次の大項目の説明を事務局よりお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）
つづきまして、大項目「３　学びを生かしたコミュニティづくり」です。
２３ページをお願いいたします。

「３－１　地域の担い手となる人材育成」でございます。

「成果指標８　市民のボランティア活動・地域活動への参加状況」につきましては、令和４年度の実績は１０．９％で、達成状況は「×」となっております。
今後は、市民ニーズを踏まえボランティア活動・地域活動に関する各種講座の充実を図るとともに、活動の周知や活動場所の発掘などに努め、学習成果を地域に還元できる活動への参加につなげます。

アクションプランの進捗状況については、２４ページ、２５ページに記載のあるとおりです。
１から４の事業の進捗状況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部「未達成」がありますが、概ね「達成」となっており、今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。

２６ページをお願いいたします。
「３－２　学習成果の活用機会の提供」でございます。

「成果指標９　年２回以上学習成果を地域に還元する団体の割合」につきましては、令和４年度はアンケート未実績により数値化できておりませんが、令和３年度は６６．１％となっており、令和４年度末の最終目標値を下回っておりますので、今後も引き続き、学習の成果を地域に還元する機会の確保や、ボランティアと市民のニーズとのマッチングなどの施策を進めてまいります。

アクションプランの進捗状況については、２７ページから２９ページに記載のとおりです。
１から５の事業の進捗状況は、すべての事業が「達成」となっており、今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。
３０ページをお願いいたします。
「３－３　市民の参加・協働による学習活動の推進」でございます。

「成果指標１０　住民同士で地域課題の解決に取り組んでいると考える市民の割合」につきましては、令和４年度の実績は41.1％で、達成状況は「◎」となっております。

今後は、公民館運営審議会や運営懇談会の議論の活性化をはじめ、地域の団体等と連携して主催事業を実施するなど、地域課題の解決に取り組んでいけるよう支援を続けてまいります。

アクションプランの進捗状況については、３１ページ、３２ページに記載のとおりです。

　１から７の事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一事業を「中止」としておりますが、その他の事業につきましては「達成」となっており、今後も継続して事業の推進に取り組んでまいります。

以上が、大項目「３　学びを生かしたコミュニティづくり」の説明となります。よろしくお願いいたします。

○（岩切会長）
只今の説明について、ご意見等がございましたらお願いします。

○（伊藤委員）
　ボランティアのミスマッチがあります。

○（廣﨑委員）
　コロナ下で、ボランティアの要望が半分になってしまいました。
　ボランティアの地域ニーズを活用してはどうですか。

○（矢澤委員）
　成果指標が低く、目標達成の基準に中身がないのではないでしょうか。

○（岩切会長）
　ボランティアを取り巻く社会状況の変化が大きいと思います。以前は、退職した教員が学校ボランティアをしていましたが、現在は働く退職教員が多いため、学校ボランティアのなり手が少なくなりました。

○（内海生涯学習振興課長）
　生涯学習センターに、ちば生涯学習ボランティアセンターを設置するとともに、生涯学習相談員を配置し、生涯学習センターの広報誌やホームページでの周知をはじめ、事業説明会や研修会等に出向き、学習相談の紹介を行う他、市内商業施設で出張相談会を実施しております。今後も周知に努め、より多くの市民の生涯学習活動の促進を図ってまいります。

○（上田担当課長）
　放課後子ども教室やアフタースクールでは、生涯学習センターに登録されているボランティアの方々にお出でいただき、落語やマジックなどをご披露いただいています。

○（岩切会長）
　他にご意見等はございますか。
　無ければ、次の議題に移ります。

（２） 第６次千葉市生涯学習推進計画の策定について

○（岩切会長）
議題２の「第６次千葉市生涯学習推進計画」の策定についてになります。
それでは事務局より説明をお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）
　第６次生涯学習推進計画の策定につきましては、令和２年度第１回生涯学習審議会において、次期計画の策定等のご説明をさせていただいた時より、長い期間にわたり、計画策定にご協力をいただきありがとうございました。
　昨年度におきましても、成果指標を中心にご審議いただき、庁内で調整を図った内容を昨年１２月に開催した当審議会にて報告させていただき、生涯学習審議会としての意見を取りまとめ、配布資料２～４のとおり、第６次千葉市生涯学習推進計画の答申としていただきました。

　その後、令和５年２月３日～３月２日でパブリックコメントを実施し、市民意見をいただきましたので、内容を報告いたします。

　資料５をお願いいたします。

「３　項目別意見」の「第２章　第６次千葉市生涯学習推進計画（案）をお願いいたします。
学校教育推進計画と同様、２人の方から１９項目のご意見を頂戴しましたので、そのうち主な意見についてご報告します。
お手元の資料５の横版「第３次千葉市学校教育推進計画（案）」及び「第６次千葉市生涯学習推進計画（案）」に対する意見の概要と市の考え方」お願いいたします。
４ページのＮＯ．７、計画書の１３２ページをお願いいたします。
「１　第６次計画策定の基本方針」、「（１）第５次計画の課題への対応」の「ア計画の進行管理に係る課題」において、各施策は順調に進んでいるものの、成果指標の達成につながっていない理由として、「（イ）生涯学習の理念が広く浸透しておらず、本市が目指すべき姿等が共有されていません。」と記載しているが、１２０ページに記載されて　いる理念は長すぎて浸透しない、「自己の人格を磨き、豊かな人生を送る」が適切な長さである、というご意見をいただきました。これについてですが、理念は、具体的な表現をすることによって理解が深まると考えているため、原文のままといたします。
次にＮＯ．８、引き続き計画書の１３２ページをお願いいたします。
「１　第６次計画策定の基本方針」、「（１）第５次計画の課題への対応」の「ア計画の進行管理に係る課題」では、第５次計画の進行管理に係る課題として「（ア）網羅的にアクションプランが並んでおり、成果指標の達成に真に必要なものとなっていません。（イ）生涯学習の理念が広く浸透しておらず、本市が目指すべき姿等が共有されていません。」を挙げ、それに対応する形で課題解消の留意・検討内容を、中ほどにそれぞれ（ア）、（イ）で記載したところですが、ご意見を受け、（ア）を「本市の生涯学習が目指すべきものを見据えた成果指標を設定し、その実現のための計画とします。」に、「（イ）現場の施設や利用団体、利用者、地域への周知に力を入れます。」に何を周知するのかを記載しておりませんでしたので、「生涯学習の理念の周知に力を入れます。」に修正いたしました。
続いてＮＯ．９、ＮＯ．１０、計画書は１３３ページをお願いいたします。
「２　第６次計画のあらたな視点」として記載している４項目のうち、（４）の「公民館が身近な地域活動拠点としての機能をより一層発揮するため、社会教育主事有資格者の更なる活用や社会教育士との連携の強化を図ることにより、各地域における課題の解決に向けた講座の拡充を通して、その成果が地域に還元され、循環させるサイクルの構築を進め、公民館の機能強化を図ります。」について、大切であるというご意見をいただいており、千葉市としましても指定管理者である公益財団法人千葉市教育振興財団と連携し進めて参ります。
また、「３　第６次計画策定における留意事項」として記載している９項目のうち、（４）の「公民館などの社会教育施設で、子どもや若者が地域の課題解決に主体的にかかわることは、主権者意識の涵養にも資するものであり、よりよい社会を創っていく資質・能力を育むうえで重要です。」についても大賛成という、ご意見をいただきました。
次に、ＮＯ．１２、計画書は１３４ページをお願いいたします。
「第６次計画の全体像」に計画目標が掲載されているが、まず、理念が記載されていない。また、理念と目標、目標と目指すべき姿の関連性の分かりやすい表記が必要であるというご意見をいただきました。

生涯学習の理念のもとに第６次計画を策定しますが、関係性をわかりやすくするため、「計画目標」の下に記載していた「一人ひとりが　学びを通して成長し　みんなが輝くまち千葉市」が「目指すべき姿」であることを明記したうえで、計画目標の上に移動しました。
　以上が、パブリックコメントでいただいた主なご意見への対応でございます。

　これら意見を最終的に反映させ、第３次千葉市学校教育推進計画と共に取り纏め、令和５年千葉市教育委員会会議第３回定例会に議決事項として提出し承認され、本年４月１日に第６次生涯学習推進計画の策定となりました。

　説明冒頭もお礼申し上げましたが、委員の皆様には、長きに渡りご協議いただき、大変ありがとうございました。当計画は、千葉市基本計画との整合性を図るために令和５年度から令和１４年度の１０年間と長期的な視点に立った計画期間としております。令和９年度には、中間見直しを図ることを計画しておりますが、社会状況の変化などから必要に応じて計画の見直し部分修正を行うことも考えておりますので委員の皆様からご意見をいただきながら修正をさせていただきたいと考えておりますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。

　説明は以上でございます。

○（岩切会長）
只今の説明について、ご意見等がございましたらお願いします。

○（伊藤委員）
　公民館における地域活動拠点としての機能発揮をさせるためは、公民館にいろいろとアイデアを出してもらって、循環サイクルの構築をしたらいかがでしょうか。

○（岩崎委員）
　最終的に千葉市学校教育推進計画と千葉市生涯学習推進計画を非常に良く取り纏めていただいたことは評価しております。
　次回の策定に向けて、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、個別学習やグループ別学習、児童（生徒）の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習など児童・生徒が学習を習得するための、学習環境の整備を図るマスタープラン的なものを作成してもらいたい。

○（菊池委員）
　これまで生涯学習審議会では、いろいろと議論してきましたが、審議会のスタート時に参加する委員に対して、研修会のようなものがあったらよいと思います。
　また、生涯学習審議会と社会教育委員会議との関係についても、今後どうなるでしょうか。

○（内海生涯学習振興課長）
　より良い生涯学習審議会とするため、研修会の開催につきましては、今後、検討して参ります。
　今年度同様に、引き続き生涯学習審議会と社会教育委員会議は連携して参りたいと考えています。

○（岩切会長）
他にご意見等はございますか。
無ければ、以上で、生涯学習審議会を終了いたします。

議事後、事務局からの事務連絡を行った。

問い合せ先　千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課
電　　話　０４３－２４５－５９５３
ファックス　０４３－２４５－５９９２
電子メール　shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp